

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2012
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.32



「平和への祈り」(統合後初の西島小学校運動会)

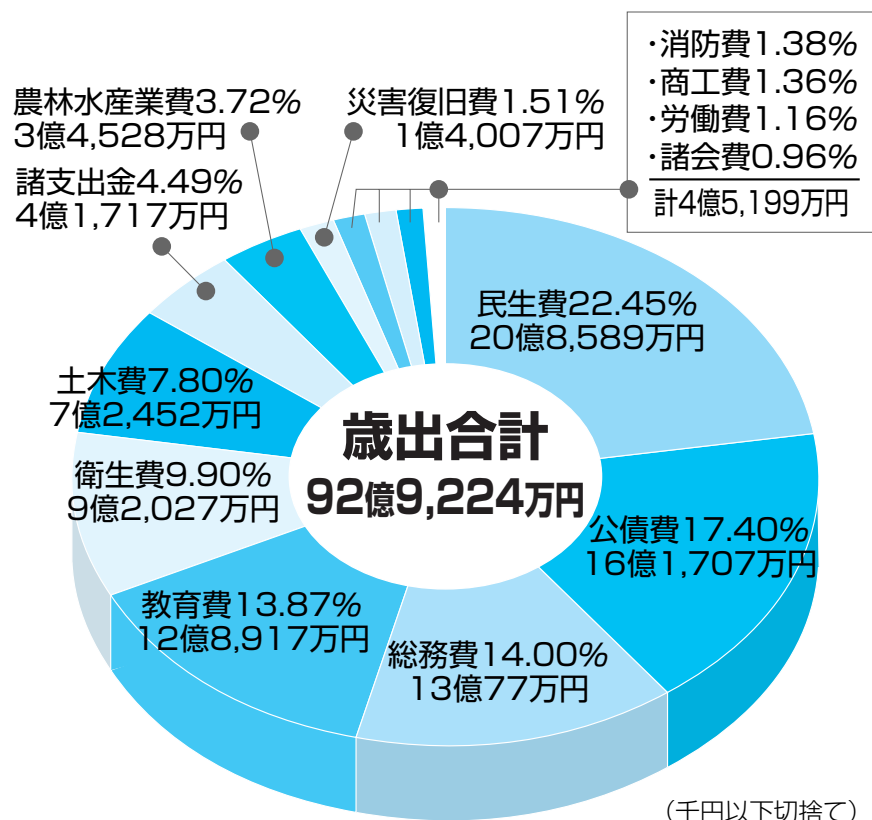
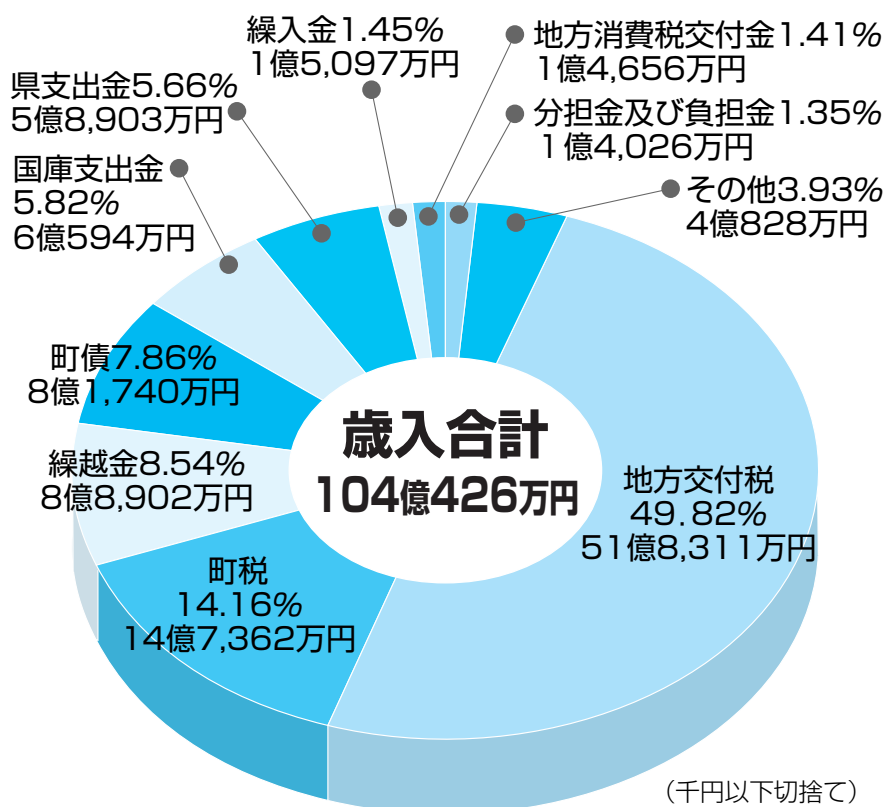
(撮影：加藤武弘さん)

9月定例議会

- 平成23年度決算認定・・・・・・・・・・ P2～3
- 主な質疑答弁・・・・・・・・・・ P4
- 9月定例議会で決まったこと・・・・・・・・ P5
- 望月町長の行政報告・・・・・・・・・・ P6
- 一般質問・・・・・・・・・・ P7～11
- 委員会レポート・・・・・・・・・・ P12～15
- 学校紹介(身延小学校)・編集後記・・・・・・・・ P20

対前年度比4.8%減 を 認 定 ！

決算議会 9月定例会



平成24年9月定例会は、9月6日から14日まで9日間の会期で開かれました。

9月定例会では、平成23年度決算を審査のうえ認定し、また、24年度一般会計及び9特別会計の補正予算、条例の改正6件、請願1件、議員発議では「地球温暖化対策に関する地方財源を確保・充実する仕組みの構築」を求める意見書が提案され、それぞれ原案のとおり可決、決定されました。

一般質問は、13日に5人の議員が登壇し、町政への提案、疑問を問い質しました。

【実質収支】

歳入	104億 426万円
歳出	92億9,224万円
繰越金	8億8,902万円
実質収支	2億6,134万円

(千円以下切捨て)

一般会計

町民1人当たり

約64万円

特別会計を含むと

約107万円

使われました

平成24年4月1日現在 人口14,525人

平成23年度一般会計

歳出
総額

92億9,224万円

●町債（借金）の累積残額

一般会計 90億1,411万円

1人当たり 約62万円

特別会計 77億5,099万円

1人当たり 約53万円

合 計 167億6,511万円

1人当たり約115万円

●基金（預金）の累積残額

預 金 48億9,478万円

1人当たり 約33万円

平成24年4月1日現在、人口14,525人

財政基盤づくりの 確立を

決 算 審 査 意 見 書

代表監査委員 渡 邊 吉 彦

決算審査は、地方自治法の規定により町長から提出された各会計の決算について詳細に審査を実施した。

歳入面においては、依存財源である地方交付税が49.8%、国庫支出金が5.8%、県支出金が5.6%と歳入の大部分を占めており、自主財源である町税は14.1%である。

経常収支比率は、75.3%で昨年度の76.1%より若干改善されているものの依然として高く、財政の硬直化が懸念される。

歳出面では、経常的経費である公債費が17.4%、人件費が15.4%、補助費等が12.9%を占めている。

今後、事業計画実施にあたっては、限られた財源を有効に活用するため、町の第一次総合計画等との整合性を図るとともに、それぞれの事業について十分精査し、経済情勢に即応した効率的な予算執行を図る必要がある。

以上、各々の指摘事項等を職員一人ひとりが改革の担い手として積み重ねを行い、「住んでよし、訪ねてもよし、おらが身延（まち）」を実施し、「安心・安全なまちづくり」に向けて、なお一層前進することを望むものである。

【審査意見書中の用語説明】

* 経常収支比率とは？

毎年度ある程度決まって支出される経常経費が一般財源総額に対して、どれだけの割合かをみる。

財政の弾力性を計る上で重要な指標である。

* 経常経費とは？

家庭に例えれば、光熱水費のような、絶対必要な経費であり、行政でいえば、単年度で取組むような臨時的経費以外の、毎年一定割合で支出することが決まっている経費（人件費や、借金返済に充てる公債費等）を指す。経常的経費の割合（経常収支比率）が小さい方が財政に弾力性があることになる。

一般会計、主な目的別歳出のなかみ（町民1人当たりの金額）

土木費：道路、河川、公園など社会資本基盤整備などの経費

49,881円

衛生費：健康増進、疾病予防、環境保全などの経費

63,358円

教育費：学校教育、生涯学習の充実などの経費

88,755円

総務費：庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理などの経費

89,554円

公債費：借ったお金（町債）の返済にかかるお金

111,330円

民生費：障害者、高齢者の福祉サービス、保育所、生活保護などの経費

143,607円

主な質疑答弁

老人医療費助成金給 条例を廃止する条例

渡辺議員 この助成金の対象者は何人か。条例廃止は、県の制度が廃止されることに伴うものだが、廃止によって、1割負担が3割負担になるといふことか。

佐野文昭町民課長 対象者は8月末で110人、負担についてはそのとおりである。

一般会計補正予算

渡辺議員 下部学校給食の調理業務を臨時職員からシルバーに変更した理由は、教育上の配慮はされているか。

渡辺学校教育課長 4月に採用した臨時職員が退職し、新たに採用した職員が60歳を超えていたので、シルバー人材センターの派遣という形で採用した。この

職員は経験者であるので教育上の問題はない。

芦澤議員 観光費の33万円は、醍醐山の登山標識にあてるものだが、標高が東京スカイツリーと同じ634メートルということで、観光的に売り出したいという地元住民の意向である。しかし、山の頂上が雑木林で見晴らしがよい。改善するには費用が必要になると思うが、追加予算を検討する用意は。

熊谷観光課長 スカイツリーと同じ634メートルの町おこしは、県内の岩殿山なども行っている。醍醐山も町のシンボルとしていろいろなイベントを催していきたい。見晴らしについては改善する方向で地元でも考えているので、時間をもらいたい。

川口議員 農業土木費の使途について。

竹ノ内産業課長 使用料及び賃借料は、水路、林道等の土砂撤去に伴う重機借り上げ料。工事請負費は、大島・西嶋・寺沢の農業体質強化基盤整備促進事業で、台風災害とは関係ない。その他は、用排水路等の補修用の原材料支給である。

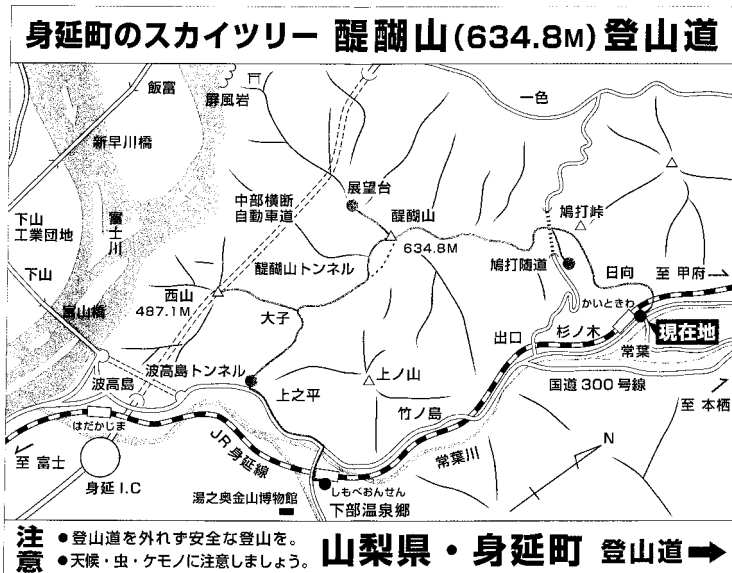
松浦議員 ①社会福祉費の報償費、長寿祝金

と花束の内容説明を。

②保育所のリズム音楽、英語指導講師の報償費は、当初予算にはなかったが。

笠井喜孝福祉保健課長

①今年100歳になる人への祝金と花束で、明治から大正への切り替えがコンピューターでうまく拾えなかった為の追加補正である。



醍醐山地図

中村子育て支援課長

②リトミックと英語の講師料で、保育内容の見直しという事で、新たに設けたものである。

穂坂議員 ①諸収入の雑入298万円は、3年前の第三者行為ということだが、特別会計でなく一般会計に計上することの妥当性は。

②土地開発事業繰出金7千万円余は、解体工事と測量など内容を把握した上での繰出しか。

③予防費の不活化ポリオワクチンの内容は。

町民課長 ①これは、老人保健特別会計から支出されていたものだが、現在、この特別会計は廃止されている為、一般会計に算入したものである。

丸山政策室長 ②繰出金は、宅地造成のための測量・設計・開発行為申請業務委託料。残りはコマの解体費用に

充てるものである。

12月中には解体を終え、来年3月末までには区画などを決定し、民有地交渉の目途がついた時点で地域説明会を行う計画である。

福祉保健課長 ③従来、生ワクチンを経口摂取していたが、不活化ワクチンの認可がおりて、今年から注射によるワクチン接種が行われることになった。

望月明議員 福祉教育学校等就学奨励基金の制度内容と、10名をさらに7名増やした経緯については。

学校教育課長 旧身延町時代に篤志家からの寄付1千万円を原資としてこの基金とし、1人10万円を福祉関係の学校に進学する際に奨励金として進呈してきた。今年は17名の申請があったので、7名分を追加補正した。

9月定例議会で決まったこと

条例改正・規則変更

●防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正（全員賛成）

●心身障害児福祉手当支給条例の一部改正（全員賛成）

●町営住宅条例の一部改正（全員賛成）

●ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正（全員賛成）

●老人医療費助成金支給条例を廃止する条例

反対討論

渡辺議員 この制度は県単独事業で、住民税非課税世帯の68歳と69歳を対象に医療費自己負担額を1割とするもので、医療費を町と県で負担している。県が廃止するから町も廃止というのではなく、どうすれば住民負担を軽くできるかを考えるのが町の仕事ではないか。

（賛成11、反対2）

●後期高齢者医療広域連合規約の変更（全員賛成）

補正予算

●一般会計（1億8864万円を追加補正）（全員賛成）

●国民健康保険特別会計（4687万円を追加補正）（全員賛成）

●介護保険特別会計（248万円を追加補正）（全員賛成）

●農業集落排水事業等特別会計（22万円を追加補正）（全員賛成）

●下水道事業特別会計（305万円を追加補正）（全員賛成）

●青少年自然の里特別会計（21万円を追加補正）（全員賛成）

●下部奥の湯温泉事業特別会計（99万円を追加補正）（全員賛成）

●土地開発事業特別会

計（7185万円を追加補正）（全員賛成）

●大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区特別会計（17万円を追加補正）（全員賛成）

●広野村上外九山恩賜林保護財産区特別会計（16万円を追加補正）（全員賛成）

議員発議

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書（全員賛成）

請願

30人以下学級実現、義務教育費負担制度拡充を図るための請願（全員賛成）

追加議案4件

●一般会計補正予算（548万円を追加補正）

●町道下栗倉線法面改良工事請負契約の一部変更（358万円増額）

●財産取得の件（消防ポンプ自動車の購入）

●人権擁護委員候補者の推薦の件（車田日向啓子氏の推薦）（以上全件全員賛成）



望月町長の行政報告



平成24年度交付税について

普通交付税は前年より6697万5千円少ない、45億7319万3千円でありました。予算額の52・6パーセントを地方交付税が占める本町では、今後の財政運営がさらに厳しいものとなっていくものと思われます。

中部横断自動車道の地域活性化インターについて

仮称「中富インター」について横内知事は「峡南地方の将来のために設置にむけて積極



解体予定の旧身延ショッピングセンター「コマ」

的に取り組む」との考え方を示しました。

仮称「中富インター」は、工事用道路をインターチェンジのアクセス道路として利用するもので、田原地区の皆さんへ計画の説明を行

いました。

身延ショッピングセンターコマについて

7月14日鯉沢法務局から、登記が完了したとの通知が届き、実質的に町の所有になりました。

敷地内の私有地の所有者より概ね了解を頂

いたので、解体工事、宅地造成に関する委託料を計上させていただいています。

「富士川舟下り」、「ラフティング」について

富士川舟下りは、8月末までに約1230人、富士川倶楽部のラフティングも約1300人が利用したとのことです。秋の観光シーズンに向け、多くの皆様にご利用いただき、町内の観光施設や宿泊施設に足を運んでもらいたいと思います。

北川の廃棄物処理施設設置計画に関する「法定外公共物使用不許可処分取消請求事件」訴訟について

甲府地方裁判所の「原告の請求を棄却する」との判決が6月26日にあり、原告の(株)山の都が

控訴を断念したため、被告身延町の勝訴が確定しました。

身延町行政改革実行プラン第2次改訂版について

平成23年度の実施成果や進捗状況等について行革推進委員会において審議いただき第2次改訂版を策定しました。「やすらぎと活力にあふれた、ひらかれたまちづくり」を目指し、職員が一丸となって行政改革に取り組んで参ります。

コンビニ収納について

多様化するライフスタイルに対応し、24時間いつでも納税できるコンビニ収納を25年度から、峡南5町が一斉導入します。

身延町では、個人住民税、固定資産税、軽

自動車税、国民健康保険税の4税についてコンビニ収納を導入する予定です。

みのぶまつり開催について

「みのぶ商工まつり」「みのぶ健康福祉まつり」「身延町物産まつり」の三つのイベントを合同で「みのぶまつり」として11月3日に、身延町総合文化会館および芝生広場で行います。

公共下水道について

8月31日現在、中富処理区 加入戸数990戸、接続率65・0パーセント
身延処理区 加入戸数237戸、接続率29・3パーセント
下部処理区 加入戸数28戸、接続率23・0パーセントです。



9月定例議会

ここが聞きたい！

一般質問

9月定例会では5議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。



八木沢地区 仮称「身延インター」関連工事

問 中部横断自動車道は、平成29年度に全線



草間 天議員

開通の予定である。首都圏はもとより東海・中京方面からの観光客の増加が見込まれる。仮称「身延インター」と活性化インターの「身延山インター」の

質問

仮称身延インターの名称に「下部温泉」を入りたいが

答弁

意見照会があった場合意見として報告する

名称を決める経過は。また、この件に関し本町への打診はあるのか。

建設課長 インターの名称は、おおむね供用開始2年ぐらい前から準備にかかる。事業主体である国交省甲府河川事務所が素案を策定し、本町へも意見照会がある。

問 中部横断自動車道、仮称「身延インター」に「下部温泉」を入れてもらいたい。意見照会についてどのように考えているか。

建設課長 まだ、具体的な考え方は示していない。町民の意見を聞きながら検討していく。本町に意見照会があった場合は、意見として報告する。次に、山梨県の道路適正化委員会で審議して、名称の原案策定となり、最終的に関東地方整備局に上申され、決定となる。

質問

町道整備が必要だが

問 和田平地区は富士川左岸にあり、予想される大震災では大きな被害に遭う恐れがある。町道から県道を経て避難所までは距離があり、平等寺裏から避

難路を兼ねた町道の整備が必要である。町の考えは。

建設課長 まず、当該区でその事について十分話し合っていることをお願いしてある。町では、必要性和財政的な事を含めて検討していく。



大河内 和田平地区

質 問

**行財政改革、行政管理型から、
経済性・効率性・効果性を重視した
行政経営型システムの構築は**

答 弁

自治体経営の視点から、

**P(計画)・D(実施)・C(検証)・
A(見直し)の体系化とその実施が不可欠**



野島俊博議員

サービスへの改革意識の醸成が必要である。

そして企業経営的手法を取り入れ事務事業の整理合理化と町民への説明責任を果たし、P・D・C・Aサイクルを円滑かつ効果的に循環させ、自助努力を惜しまず、自己改革をしながら成長する行財政システムが必要と考える。

問 行政の顧客でありパートナーでもある町民に対して、効果的で質の高いサービスを最小の経費で効率的に提供し、常に成長することができる行財政システムの考えは。

総務課長 町の取り組みべき課題を取り上げ、住民ニーズを把握し、町民視点に立った政策能力、効率化能力、住民との協働能力、実効能力を発揮できる職員の育成、行政

られている中、より効果的な行財政運営や行政改革を進めることにある。

そのためには、資産や負債等の情報コストを意識した企業会計と同様の発生主義、複式簿記の考え方を取り入れ、町民に対する財務状況の透明性の向上、説明責任の履行、行財政運営への財務情報の活用を図り、資産や負債の累計額のストック情報を包括的に把握し、その有効活用方法や改善策を検討し町民視点・経営的視点の行財政運営を目指す事にある。

問 新地方公会計制度に基づく財務諸表で見えてくる身延町の財政状況、導入の目的は。

財政課長 新地方公会計制度については、これまで以上に自由かつ責任のある地域経営が地方公共団体に求め

や純資産変動計算書、資金収支計算書等3表の公開は、近隣の町村と協議する中で23年度決算からの公表を目標にしている。

資産形成については22年度の数値から、353億4409万円の資産を取得し、その資産を115億7791万円の負債と、237億6618万円の純資産により調達している。

プライマリーバランスは黒字になっており、財政は健全であると考えられる。

問 行財政改革、自治体を取り巻く環境は予想を上回る速度でめまぐるしく変化し、日々厳しさを増し、町民の行政に対する評価も一層厳しさを増しており、今後、どのような視点で身延町の将来を考えていくのか。

総務課長 本町の行財

政改革は行政改革大綱に基づき、職員が一丸となって取組んでいる。

また、行政を支えるのは人材であり、町民と協働意識の高い職員、地域活性化を推進する職員等、それぞれの能力をいかに発揮できる職員の育成を重視している。これからますます厳しさを増

●財務4表とは？

1. **資金収支計算書**：お金を「どう集め」「何に使ったのか」が解ります。
2. **貸借対照表（バランズ・シート）**：その時点の「資産」「負債」「純資産」が解ります。
3. **行政コスト計算書**：どの事業に「いくらコストをかけ」「その財源が何か」が解ります。
4. **純資産変動計算書**：純資産に影響を与える原因（1年間の変動内容）が解ります。

***資産形成度とは？**：将来世代に残る資産はどれくらいあるか。

（歳入総額）÷（資産合計）で表わされます。

***プライマリー・バランスとは？**政策のために必要となる費用が、その時点の税収でどこまで賄われているのかを示す指標です。

歳出>税収（債務残高増加）、歳出<税収（債務残高減少）

す社会情勢の中、町が抱える様々な課題に迅速かつ的確に対応し、将来に渡り安定した町民サービスを提供するために、地域社会の動向を鋭敏に察知しつつ、町の将来像を見据えた町民と協働する自立した自治体運営を目指したいと考えている。

問 小中学校児童生徒の安全は保たれているか

答 弁
登下校を含めた
学校安全に万全を期す



望月 明議員

問 小中学校児童生徒の登下校の安全確保は。

学校教育課長 地域の各種見守り隊、子供110番の家、スクールガードリーダー、青色パトカーや地域の皆さんのご尽力と現場教職員の努力により、これまで事故が起きていない。

問 スクールガードリーダーは何人で、どのように巡回しているか。

学校教育課長 現在2名で、町内を2分して巡回している。

防犯ブザーの携帯等の諸対策を講じている。

問 非常時（地震・火災）の対応として、避難訓練と校舎等の建造物の安全対策は。

学校教育課長 避難訓練は年に3～5回、約1時間ほどかけ実施している。

校舎内外の安全点検はこれまでに耐震診断を行い、問題箇所には補強工事をしてきた。また、窓ガラス飛散防止工事も町内全校に実施した。今後も安全対策を継続して実施する。

問 小中学校いじめ問題とその対策

問 大津市の中2男子いじめによる自殺を契機に、いじめ問題が全国的な問題となっている。本町では最近何件発生したか、また、不登校はどうか。

教育委員長 23年度の

いじめは小学校1校で認知数2件、中学校1校に認知数13件である。

不登校は23年4月から24年一学期末までに小学校3校に3人、中学校4校に6人だった。

問 いじめや不登校問題への対応は。

教育委員長 いじめの情報を早急に察知できるように、生徒指導の会議を開催し、学級や児童・生徒会への働きかけ、さらに外部の各種相談員等と線密に連携していく。

問 中部横断道の建設について

問 身延町内における道路建設状況は。

建設課長 下田原地区の田原川橋下部工事、一色川橋梁上部工事、醍醐山トンネル掘削工事、八木沢地区仮称身延インター進入路と関連工事、松葉沢川橋や

渡々沢川橋下部工事、また工事用道路も旧身延地区で行われている。

問 完成の見通しは。

建設課長 仮称六郷インターから富沢インターまでの間約28キロメートルは、平成29年度に供用開始を目標に事業が進められている。

問 江尻窪地内の残土処理場とその取付け道

路の建設状況は。

建設課長 取付け道路の工事は24年度中に終了し、完成しだい処理場の整備に入る予定。

問 下田原、仮称中富インター設置が有望視される中、設置を見越した町おこし事業は。

政策室長 小規模だが、宅地分譲事業を考えている。



中部横断自動車道田原川橋下部工事（下田原地区）

質問

**8年後に交付税が
約10億円減少する
中・長期財政計画策定は**

答弁

**毎年交付税減少を見込んだ
「財政見通し」を
県に提出している**



芦澤健拓議員

問 「普通交付税の合併算定替え」が平成26

年度に終了し、「激変緩和期間」を経て、32

年度から「一本算定」に戻ると、23年度の46

億円に比較して交付税が約10億円減少する。

厳しい財政になるが、中期または長期の財政

計画は策定しているか。

財政課長 三位一体改

革後2年間、交付税は

減少していたが、政権

交代などで普通交付税

は増加していた。平成27年度から約2年間は繰越金があるが、その後は基金の取り崩しなどで対処しなければならぬ。その後はさらに厳しい財政になる。中・長期の財政計画は策定していない。

問 同じ頃合併した南アルプス市や山梨市では、中期財政計画を策定し、ウェブで公開している。本町では、今後、そのようなものを策定する予定はあるか。

財政課長 公表はしていないが、毎年、「財政見通し」を作成し、県に提出している。普通交付税の変化が大きい

ため、財政計画は策定することはできない。

問 23年度決算の意見書では「依存財源が約62%で、自主財源の町税は約14%である。また、経常収支比率は75%で財政硬直化が懸念される」と指摘されている。こういう状況下では、主要財源の交付税が減少してからでは遅すぎる。不十分なもので構わないので、財政計画を作り、町民に公開するということを考えないか。

町長 県からの指導を受ける中で、今後、検討していく。

問 国庫補助金・県補助金の減少は

問 普通交付税だけでなく、国庫補助金や県補助金も減るのは。

財政課長 税源移譲の手法として、国は補助金制度をなくし、一括

交付金と地方交付税の2本立てで進めようとしている。総額は減少すると考えている。

問 扶助費は増加するか

問 少子化、高齢化の中で、生活、介護、医療などの扶助費は、増加傾向にあると思うが、今後の見通しと増加防止対策は考えているか。

福祉保健課長 扶助費は生活保護法などの法律に基づいて、支出するものだが、平成19年度から5年間で約2億円、率にして35%増加した。高齢化の進行が直ちに増加の原因とは言えない。安易な事業廃止や事業費削減はサービス低下につながるが、町財政を考慮すると、町独自の事業等は見直しや改善が必要である。国、県の事業も町の負担が少なくなる

ような制度改革を要望していく。

問 経費削減の中で人件費削減は考えないか

問 普通交付税の減少により、あらゆる経費削減が求められる。現在、町税で人件費を賄っているという状態だが、職員給与、退職制度、職員定数の見直しによる人件費削減は考えているか。

問 普通交付税の減少により、あらゆる経費削減が求められる。現在、町税で人件費を賄っているという状態だが、職員給与、退職制度、職員定数の見直しによる人件費削減は考えているか。

「地方交付税の合併算定替え」とは

平成の大合併の際、合併前の3町の財政規模を基準に交付税を積算し交付されたものです。

「合併算定替え」期間は、平成17年度～26年度までの10年間。その後、「激変緩和措置」期間が、平成27年度～31年度までの5年間。平成32年度からは、従来の「一本算定」方式に戻ります。

これにより、交付税は23年度の約46億円から約10億円削減になると予想されます。

総務課長 人員適正化5カ年計画によつて合併時の269人が、現在は207人になっている。今後は27年度の198人を目標に削減を行っていく。人件費削減には時間外勤務手当削減が必要で、時差出勤制度の有効活用等を進めている。

質 問

機械的な資格者証の発行は

答 弁

滞納者と相談のうえ対応



渡辺文子議員

問 町民から国保税が高くて払いきれないと聞いている。滞納世帯等の現状は。

町民課長 加入256

6世帯のうち、滞納1

13世帯、資格者証交

付105世帯、短期証交

付8世帯となっている。

問 資格者証交付が機

械的におこなわれているように思えるが、発

行基準はなにか。

町民課長 納付相談、

納付指導等に応じず滞

納額が著しく増加した

世帯と、納付計画、分

割納付等の約束を理由なく履行しない世帯に資格者証を発行している。

問 資格者証を発行し

ない町村が県下に12あ

る。滞納世帯には払え

ない事情があると考え

られるが、生活実態を

把握して対応すべきで

はないか。

町民課長 滞納者と税

を納めていただく相談

を進め、資格者証の発

行を減らす努力をして

いきたい。

問 命に関わる病気で入

院した家族が保険証の発

行を求めたが、約束した

滞納分の納付がされてな

いとの理由で拒否され

た。事情を考慮した特別

な配慮はできないものか。

町民課長 正規納税が

困難な申し出があった

場合、本人と相談のう

え納付計画を立て、誓

約を基に納税の猶予処

置等をとって緩和して

いる。それでも納税が

困難な場合、法律の規

定により執行停止処置

も講じている。

問 住民の命と健康を

守る事が町の仕事では

ないのか。国保税の納

付計画の誓約が守られ

ず滞納があるからと、

保険証を発行できない

とは冷たすぎるのでは

ないか。今後、困って

いる住民の救済策を検

討できないか。

町長 今まで通りで問

題は無いと考える。職

員もこのような状況に

ならないよう努力を続

けている。資格者証を

発行される前に、議員

活動の中で努力をすべ

きだ。今後は議員にも協力を願いたい。

問 今回のような特別

な事情のある場合は、

保険証を発行しなければ

ならないと思うが。

町民課長 基本的には

相談のうえで対応して

いる。今回の場合は税

務課と一緒に事情を聴

き、資格者証から短期

証に切り替えた。

問 差し押さえの件数

等の状況は。

税務課長 23年度の町

税を含む件数は180

件で、預貯金98件、生

命保険6件、不動産2

件である。

問 執行にあたり、生

活実態の把握はされて

いるのか。

税務課長 差し押さえ

は一連の手順を踏んで

行い、財産の調査をす

る段階で生活実態の把

握をして進めている。

問 税の滞納者を出さ

ないための対策や相談

等、今後の考えは。

税務課長 税の滞納者

のなかには、自身の税

金を管理する自覚に欠

ける人が多いと思う。

納期内納付の自覚を持

ってもらうために、役

場に来ってもらう事を勧

奨している。

問 災害時の児童生徒

及び園児用の飲料水、

食料等の備蓄の状況は。

学校教育課長 各小中

学校に乾パンをひとり

当たり1食分と、1校

当たり300リットル

の水を配備してある。

子育て支援課長 災害

時緊急用品は、町内全

ての保育所に1日から

3日程度の備蓄がある。

今後は発電機を配備し、

停電時にも備えたい。



飯富病院

【現地調査】

○町道久成地内、樺橋

公共土木災害現場

○萩・大桜2号橋、農

林土木災害現場

○身延川上流、砂防公

園付近河川災害現場

○湯町地内、真空弁ユ

ニット設置・下水道

工事現場

○古閑地内へりポート

建設予定地

質疑応答

▼23年度一般会計決算

税務課関係

問 町県民税・個人分の今後の見通しは。

答 国全体が不透明であり厳しい状況である。

問 企業の実態を把握する対策は。

答 固定資産税の償却資産の現地確認の際に情報収集に努めている。

財政課関係

問 旅費、使用料及び賃借料の内容は。

答 (株)山の都との係争

に關係する東京高裁への旅費と高速代である。

問 備品購入費を減額した理由は。

答 公用車の買い替えを精査して購入したため減額補正した。

総務課関係

問 東京電力(株)等からの使用料の収入は毎年あるのか。

答 庁舎等の敷地に電柱を占用するもので、毎年発生している。

問 交通安全対策費の役務費の不用額が多いのは何故か。

答 交通災害共済の通知の郵便料だが、区長・組長配布物と同時に配布したためで、今後は精査し適正な予算計上に努めたい。

政策室関係

問 報酬に不用額が生じた理由は。

答 地域審議会及び土地利用審議会の開催回数、予定を下回った

ためである。

問 定住対策事業に係る報償費の内訳は。

答 結婚祝い金65万円、出産祝い金340万円、就職奨励金27万円である。

下部支所関係

問 コミュニケーションテレビ使用料過年度分の内容とは。

答 22年10月以前のSCTの使用料で、10名

弱の未納者である。現在は停波しているが居所不明で徴収困難と考えている。

問 働く婦人の家の鍵の管理方法を工夫し経費節約が図れないか。

答 不便をかけないよう調整し検討する。

身延支所関係

問 工事請負費の繰越明許分は何か。

答 身延支所と保健セ

ンターの空調機器の取り換え工事で、国の「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」事業を活用し整備した。

議会議務局関係

問 決算書に予算流用の説明の記載がないが。

答 全てを記載するのは困難で、重要なものだけを記載している。

問 消耗品の予算に対し支出が極端に少ない。予算要求額の正当性は。

答 無駄な購入をしないよう精査し支出を削減した。今後は必要額のみ予算計上したい。



現地調査 町道久成地内樺橋公共土木災害現場

問 地籍調査事業実施計画の立案基準は。

答 計画区の面積、筆数、土地の形状により算定する。

問 今後の計画と進捗率は。

答 25年度以降、中富地区5・74km²、身延地

身延町議会だより

区 4・38 km、下部地区
2・77 kmを計画してい
る。23年度末の山地を
除く進捗率は、中富地
区 57・77%、身延地区
76・61%、下部地区
68・32%で全体で 68・
75%となっている。

環境下水道課関係

問 報償費の不用額が
多い理由は。

答 学校や P T A に交
付している資源回収活
動報奨金の申請が少な
かったためである。

問 管理棟の照明を L
E D に替えた効果は。

答 電気料金が減額と
なっている。

問 L E D 照明の啓発
や普及の発信は。

答 検討したい。

産業課関係

問 産業課分の雑入の
内訳は。

答 曙大豆種子販売代
金 7 万 8 3 0 0 円。中
山間総合整備事業用地
買収委託金で、県から

の 35 万 2 千円。気象観
測施設委託謝金で、東
京管区気象台から 3 万
5 千円。農地・水・環境
保全向上対策活動推進
交付金 6 万 7 千円の合
計 53 万 2 千円である。

建設課関係

問 土木積算システム
の保守料の委託先とシ
ステムの内容は。

答 委託先は公益社団
法人山梨県建設技術セ

ンターで、年間を通じ
設計書作成の積算基準
の改定や単価の改定の
システムを保守してい
る。本町では建設課 4
台、水道課 2 台、環境
下水道課 3 台の計 9 台
を使用している。

▼身延町防災会議条例

及び災害対策本部条
例の一部を改正する

条例

問 条例の一部改正の



現地調査 身延川上流防砂公園付近河川災害現場

要点は。

答 身延町防災会議条
例において、会長及び
委員の要件で「自主防
災組織を構成する者、
又は学識経験のある者
のうちから町長が任命
する者」を追加した。

▼平成 24 年度一般会計

補正予算

問 償却資産管理シス
テムは市販のものか、
その金額は妥当か。

答 市販のもので、現
時点では妥当と考える。

問 家屋の寄付の申し
出の際、粗大ゴミ等の
確認をしたのか。

答 ゴミは確認した。
撤去費が約 30 万円かか
るが、農業体験用簡易
宿泊施設としてそれ以
上の価値があると判断
し寄付を受けた。

問 高齢者保養施設
「門野の湯」の修繕費
の内容は。

答 浴槽の老朽化した
木の縁廻りを、石張り

に改修するためである。

問 土地対策課の公用
車購入の理由は。

答 購入より 13 年が経
過し故障が多くなり補
正予算計上した。

問 醍醐山登山道で眺
望が良く、看板を設置
できる場所はあるのか。

答 6 3 4 m の頂上付
近は見通しが悪いが、
今後、醍醐山登山道を
整備する会と所有者の
協力を得、3 0 0 ㎡ほ
ど南側の若干開けた場
所の立木を伐採し、整
備する予定である。

問 町営住宅の修繕費
1 2 0 万円とあるがそ
の内容は。

答 年数が経過した備
品が多く、部品交換で
対応できなくなった。
各部屋の小規模の修繕
や備品の交換であり、
当初予算の残額が少な
くなったための補正で
ある。

〔現地調査〕

- 西島小学校
- 旧静川小学校
- 身延小学校
- 身延中学校
- 旧豊岡小学校

質疑応答

▼23年度一般会計決算

水道課関係

問 小規模簡水は今後どのようにしていく計画か。

答 簡水、小規模簡水をどのように統合するか検討を進めている。今年度は、曙、小原島、大城の水道を検討している。

福祉保健課関係

問 配食サービス利用者を決定するにあたり、基準をあまりにも厳格に適用しすぎるとの声があるが。

答 利用対象者は、年齢や疾病等により調理が困難な「65歳以上の世帯」「高齢者のみの世帯」に準ずる世帯」としており、世帯の状況を調査し、調整会議にかけ判断し決定している。今年度は、利用者アンケートを実施し、改善すべきところは改善したいと考える。

問 女性特有のがん検診の内容と対象者数は。

答 子宮がん検診と乳がん検診で、子宮がん検診が20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の283人、乳がん検診は、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の438人である。

問 社会福祉総務費中の委託料が500万円ほど増えているが。

答 要援護者支援台帳の作成業務の委託料を増額したためである。

問 老々介護が増加している中で、災害時にいかに避難するかが課題となっているが、その対策は。

答 要援護者支援台帳の活用策を検討しなければならぬが、個人情報保護法の問題もあり、要援護者の同意取得や民生児童委員、消防団、自主防災組織等の連携、調整を図っていきたいと思う。

生涯学習課関係

問 教育施設使用料のうち木喰の里微笑館と、なかとみ現代工芸美術館の入館者数は。

答 微笑館の有料入場者は1236人で、その他に町内の小中学生が120人ほど入館している。町内小学校の授業での入館は無料で

ある。美術館の入館者は8092人である。

問 美術館の入館料を下げたが、入館者数に変化はあったか。

答 22年度の入館者は7602人で23年度は約400人増加したが、10年前と比べると2割減になっている。

学校教育課関係

問 教育委員会費の報償費は何か。

答 2年制以上の大学および専門学校で、福祉、保健、看護、介護等の教育課程を履修する教育施設に就学している者の保護者に対して10万円を奨励金として支給する福祉教育学校就学奨励金である。

子育て支援課関係

問 保育所・保育園の園児数は何人か。

答 総数は246人である。西嶋保育所11人、原保育所20人、静川保育所16人、常葉保育所



現地調査 旧豊岡小学校



現地調査 身延小学校

21人、久那土保育所19人、下山立正保育園46人、大野山保育園113人である。

問 保育料の未納者は何人か。

答 収入未済額は、現年度分65万4390円、

過年度分721万1756円である。未納者は37人である。そのうち今年度になり1人が完納した。

問 次世代支援対策費

とは。

答 民間保育園の一時

預かり事業、乳児・1歳6ヶ月児・3歳児検診時の栄養相談事業に對しての国からの交付金である。

町民課関係

問 県負担金の国保会計保険基盤安定負担金は、昨年度より増えているか。

答 国民健康保険税の税率改正や保険税の限度額が増額されたことで、低所得の軽減対象者が増えているため増額となっている。

▼簡易水道事業特別会計決算

問 水道使用料の過年度分について、不能欠損処理にしないのか。

答 滞納者との間で分納誓約書を取り交わし毎月一定の金額を納付している人もいるが、転出先が不明の人や外国人で帰国した人については不能欠損ができない状況である。水道

使用料については、私法上の債権にあたり、裁判所への手続きを行い、議会で承認をもらい不能欠損処理を行うこととなっている。関係課と合同で条例の改正も含めて協議中である。

▼23年度後期高齢者医療特別会計決算

問 普通徴収保険料で収入未済額の人数は。

答 出納閉鎖時点では48人いたが、現在までに29人の方が納付している。

▼心身障害児福祉児童手当支給条例の一部を改正する条例について

問 該当者は何人か。

答 24年度の状況は3人が該当するが、ここ数年申請がなく、現在の受給者はない。

▼ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

問 この条例が施行されることによって、どうなるのか。

答 税制改正に伴い、所得税非課税だった者に所得税が課税されること予想されたので、対象者に不利益が生じないよう従来通り助成の対象とすることができ。

▼平成24年度一般会計補正予算（第3号）について

問 集落公民館整備費補助金の各集落の補助金額は。

答 下部第五町会が26万4千円、梅平二区が117万円、元町区が52万5千円である。

問 児童福祉総務費中、常葉、久那土、西嶋、原、静川保育所のリトミック教室は、何歳児が対象か。

答 年長・年中児を予定している。

モニター通信

このコーナーは、議会広報モニターさんに、通信用紙を送付し、議会だよりNo31についての感想をお寄せいただいたものです。ご協力ありがとうございました。

◇表紙について

- ・地域活性化の起爆剤として大変良いと思う。町内の観光施設等を大いに利用していただけることを期待する。

◇町民と議員との懇談会

- ・結果はどうであれ、話し合いの場を持つことはとても良い事と思う。
- ・広報活動に工夫をして多数の人に参加してもらう必要がある。

◇町長行政報告・議会日誌

- ・町長行政報告が簡略すぎる。
- ・項目ごとに説明があり良かった。

◇6月定例議会

- ・答弁に、未だ行っていない・確認している・気付かなかった等があるが、職員は機敏性を持って業務遂行していただきたい。
- ・橋梁建設工事の写真は場所も分からず、このページに関連しているのかもよく分からなかった。

◇6月定例議会で決まったこと

- ・今までにない表記で、工夫が感じられた。
- ・議会広報は堅苦しいというか、読んでいて知らないことだらけで町の現状がつかめない。

◇一般質問

- ・質問に立つ議員が偏っている。どうして全員が質問しないのか。
- ・町外から通勤している町職員の多さに違和感を覚えた。定住促進を町職員に促すのが一番先ではないか。

◇臨時議会・組合議会

- ・箇条書きは見やすいが、内容的には全く理解不能。

◇正副議長全国研修報告

- ・「気がついた事から、出来る事から一歩ずつしていくことが議会改革」という結びは全てに通ずる改革提言だと思う。

◇追跡・人事関係

- ・モニターに委嘱された以上は、駄馬に鞭打ちながら頑張ります。
- ・追跡の記事は、写真で場所などを明示すれば分かりやすかった。

◇下部地区公民館竣工

- ・巨額な費用で建てられた公民館ですので、今後の有効利用に期待します。
- ・どこの地区においても公民館は必要な施設です。地区の皆さんが楽しく利用できるようお願いしています。

◇学校紹介・編集委員会だより

- ・大変分かりやすい学校紹介だと思います。たった25年で生徒数が半分だとは、学校運営に苦勞をされているのが理解できます。
- ・この紙面は各学校の特色の良くわかるいい記事だと思います。

◇町政全般についての意見・要望

- ・議員定数について検討されていますか。

人事

人権擁護委員候補者の推薦

日向 啓子氏

(車田)

※全員賛成で同意

◇人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱を受け、国民の基本的人権の侵犯を監視し、もし侵犯されたことが判明した場合には、その救済に適切な措置をとるために設けられています。

議会日誌

6月

- ・6月定例議会
- ・青少年育成身延町民会議
- ・新々富士川橋建設促進期成同盟会総会
- ・議会活性化等調査検討特別委員会

7月

- ・健康づくり推進協議会
- ・山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会
- ・県外市町村議会行政視察受入
- ・（北海道滝上町議会）南部藩「一日国替え」事業
- ・現代工芸美術館オー

8月

- ・プニングセレモニー
- ・平成23年度決算審査
- ・リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会
- ・町長と語る小中学生のつどい
- ・中部横断自動車道建設促進連絡協議会総会

9月

- ・身延町総合防災訓練
- ・9月定例議会



平成24年9月30日の町長選で

望月仁司町長再選

二期目に想う

身延町長

望月 仁司

心配された大型台風17号は、わが町でも強風を伴った激しい雨が降り、切石で82・5ミリを記録しましたが、人的被害もなく、対処出来ました事に安堵しております。

私は、今回の町長選立候補に対し、「私を育んでくれた身延町に恩返しをしたい。今なら恩返しができる。」の気持ちから、再出馬を決意させて頂き、再度町民の皆様の審判を頂いたところであります。

その中で、4年間で振り返って見ますと、

無料化を堅持します。

・「身延いち・いち運動」を展開し、健康寿命山梨県一の町を目指します。

次は、教育の質を高める環境づくりについてであります。

JR下部温泉駅の無人化のように、私の力不足で町民の皆様に満足して頂けなかった事に つきましては、強く反省しているところであります。

4年間の反省の上に立つて、私の考えを6項目にまとめてみました。

その初めは、行財政改革の断行であります。

・役場職員の意識改革をより進め「プロ集団」を目指します。

・子供や孫に借金のツケを残さないよう、健全な財政の町を目指します。

次は、医療・福祉についてであります。

・子供にかかる医療費負担は、中学生まで

砂対策を推進します。

・緊急時の救命・救助対策として、防災ヘリポートの充実・実現を目指します。

最後は、将来の町づくりについてであります。

・まちづくりは人づくりです。明日の身延町を担う人づくりを強力に推進します。

・中部横断自動車道のメリットを最大限に生かし、人口減少に少しでも歯止めがかかるよう、若者が住める町、住みたくなる町を目指します。

以上の実現に向けて、町民の皆様と力を合せて、頑張つてまいります。

結びに「不仁にして天下を得るは、未だ己にあらず」であります。

私は「仁」に生きて参りますことをお誓い申し上げます。

・東海地震対策として防災体制の整備強化や、台風等に伴う土

議員紹介



佐野 富雄 議員

大塩



柿島 良行 議員

門野

激しく流れ行く時代の中で、議員一人ひとり、また、職員一人ひとりの力量が問われる今日、直接議会に参加できる榮譽をいただき、心より感謝申し上げます。

私の理想は「心安らぐ郷 みのぶ」であります。

若いときは、郵政一筋で仕事をしておき、行政・政治は全く未知の分野であり、未熟者でございます。

今後は、品位と資質の向上に努め、町民の皆様のお役に立てるよう、日々精進する覚悟でございます。

任期まで、わずかではあります。先輩議員の皆さんや職員の皆さんのご指導、ご鞭撻をいただきながら精一杯頑張りたいと思っております。

どうか、先輩議員や、町長はじめ職員のご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

第76回町村議会広報 研修会に参加して

委員長 芦澤健拓

時 平成24年7月30日
午後1時～5時

場所 シェーンバツハサ
ボー（砂防会館別館）

参加者

芦澤健拓・河井 淳

望月秀哉・望月 明

松浦 隆・野島俊博

毎年2回定期的に行われている「町村議会広報研修会」に、広報編集委員全員で初めて参加させていただきま

した。
全国から500人以上が参加するという大規模な研修会です。県内でも多くの町村が毎年のように参加しているようです。

山梨県の自治会館で行われる研修会には、ほぼ皆勤で参加してきましたが、全国レベルの研修会に参加するの

は初めてでした。今後の「議会だより」の編集に役立てたいという意欲で全員参加させていただきました。

研修会場は、田中角

栄元総理の事務所があった砂防会館の別館で、その名もシェーンバツハ・サボーといいます。

研修は、3部に分かれており、それぞれの表題は、①「伝わる！わかりやすい文章を書く」、②「広報誌におけるレイアウト表現の

基本」、③「写真の撮り方」というもので、それぞれの分野における専門の講師が、いわば議会広報の基本的なテクニクのようなものを教えてくれました。毎年、山梨県と全国で行われている「議会だより（広報）コンテスト」に入賞するためのテクニクと言ってもよいでしょう。

私たちは、旧身延町議会の大先輩で、全国的にも広報コンサルタントとして著名な深沢徹さんに直接、いろいろなご指導をいただける恵まれた環境にありながら、コンテストで受賞できるような「議会だより」がなかなか作れないでいます。

町民の皆さまに、気軽に手に取っていただけて、「読みやすくて、議会のことがよく分かる」と言っていただけのような「議会だより



みのぶ」を作ろうと努力しています。

「読みやすく分かりやすい広報」イコール「コンテストで入賞できる広報」であればいいのですが、そのあたりがなかなか難しいところ

です。
さいわい、モニターさんやフォトリダーの皆さんにも、熱心にご協力いただいていますので、これからも「見やすい、読みやすい議会だより」作りを目指して、今後も努力してまいります。

町村議会広報研修会（砂防会館別館）

一部事務組合議会

平成24年度一般会計
補正予算（第1号）

飯富病院組合議会

6月21日開催

◆条例改正

病院事業の利益及び
資本剰余金の処分等
に関する条例の制定

※全て全員賛成で可決

9月24日開催

平成23年度病院事業
会計決算の認定につ
いて

平成23年度決算に基
づく病院事業の資金
不足比率の報告につ
いて

※全て全員賛成で可決

峡南衛生組合議会

5月18日開催

◆条例改正

ゴミ処理場の設置及
び管理に関する条例の
一部を改正する条例

◆補正予算

後期高齢者医療連合議会

7月5日開催

◆補正予算

平成24年度一般会計
補正予算（第1号）

財務関係システム及
びグループウェア委託
料並びに後期高齢者医
療特別会計への繰出し
金として、7980万
円増額

平成24年度後期高齢
者医療特別会計補正
予算（第1号）

後期高齢者医療標準
システム運用保守委託
他及び機械借上げ及び
リース料等として1億
466万円増額

※全て全員賛成で可決

◆公平委員会委員の選任 について

欠員に伴う委員の選任
について同意を求める。
山中湖村 相浦議員
を選任

「町民と議員との懇談会」のお知らせ

毎年、3月と9月の
定例会後に実施してい
る「町民と議員との懇
談会」を次の日程で開
催いたします。

身延地区日程

平成24年11月15日

午後7時30分

身延地区公民館
下山分館

中富地区日程

平成24年11月21日

午後7時30分

中富総合会館2階

9月議会では、「議
会だより」冒頭でお伝
えたとおり、平成23
年度決算について審議
しました。

懇談会では、その報
告から始めます。

下部地区日程

平成24年11月16日

午後7時30分

下部地区公民館





『山梨県一の小学校』を
目指して

身延小学校



身延小学校全景

数回の校名改称を経て、平成22年4月に豊岡小学校と統合し、新生「身延小学校」として力強くスタートし、3年目を迎えました。

四季折々の美しい表情を見せる身延山、歴史と文化を感じさせる信仰

本校は、明治6年（1873年）に「身延学校」として設立され、創立139年の歴史と伝統がある学校です。

校舎は、梅平のほぼ中央、山や川に囲まれた自然豊かな地に位置し、校地として最適の地域です。

の山、この地で、11名の明るくて素直な児童が「山梨県一の小学校」を目標に、6年生を先頭に、活力ある学校生活を送っています。

児童会活動が活発で児童一人ひとりが伸び伸びと活動し、少々の失敗は許され、自他の良さを認めあえる仲間づくりに取り組んでいます。

本年度、本校児童会では、『勇気と自信』というスローガンを掲げ、様々な活動行事を行っています。

本校の特色を挙げると、運動会で行われる表現運動の「子ども万灯」と「一輪車」です。「子ども万灯」は、弘安5年（1282年）10月13日に日蓮大聖人が御入滅の際、時ならぬ桜が咲いたといういわれに因んで、毎年10月12日（日蓮聖人が亡くなられた前夜）に行わ



表現運動「一輪車」

れている身延山の御会式万灯行列の子ども版として昭和61年から行われています。「一輪車」は、統合前の豊岡小学校において、全校で伝統的に行われていたものを引き継いでいます。全く足を地面につけずに、ループや2枚羽根等の見応えのある演技を行います。

二種目とも、今ではすっかり子どもたちの中に定着し、充実した表現運動になっています。

子どもたちの健やかな成長のため、一人ひとりの良さや可能性を見つけ、それを発揮できるように教育活動を展開し、心豊かで、大きな夢や希望が持てるような学校づくりを目指しています。

今後、全校職員が情熱を持ち、一丸となって取り組み、さらに前進できるように努力していきたいと考えています。

（校長 佐野 貴宣）

編集委員会 だより

実りの秋、収穫の秋、あの猛暑からようやく解放され、朝夕は過ごしやすくなりました。

さて、編集委員会では、研修や講習に積極的に参加し知恵を集めて作業に取り組んでいます。

議会だよりの編集を通じ、議員一人ひとりと町民の目線がずれていないか、町民の思いを代弁者として議会に伝えられているか、議会の様子を「いかに正確に、分かりやすく親しみやすい紙面にするか」心して、作業に取り組んでおります。

今後一層、身近な「議会だより」を目指して参りますのでよろしくお願い致します。

（編集委員 野島俊博）